



青和病院 理念

私たちは信頼され、選ばれる病院を目指して、3つの【和】を大切にしています。

- 地域社会との和
- 患者様、ご家族様との和
- 職員同士の和

～行動指針～

- 私たちは地域の方々が安心して利用でき、誠実で思いやりあふれる病院を作ります。
- 私たちは命の尊厳と人間愛をもち、絶えず医療の質の向上に努め、信頼される病院を作ります。
- 私たちは医療人としての誇りと自覚をもち、互いに協働し、働きやすい職場を作ります。



家族教室休会のお知らせ

当院では、ご家族同士の交流や疾患に対する理解を深めることを目的に、約 15 年にわたり家族教室を行ってきました。この数年は、企画のマンネリ化や参加者の減少が課題となっていました。そのため、誠に勝手ながら、平成 27 年度をもちまして、休会とさせていただきます。これまでのご協力に感謝いたします。なお、ご相談・お問い合わせ等につきましては、従来通りお気軽にスタッフまでお寄せください。よろしく願いいたします。

今月のご挨拶

少しずつ春の装いを感じる季節となってきましたが、まだまだ油断は大敵です。西日本を中心に記録的な大雪となり、事故や転倒が相次いだ 1 月。奄美大島で 115 年ぶりに雪が降ったというニュースは、まだ記憶に新しいです。現代は情報化社会であり、遠く離れた地域で何が起きているのかを、リアルタイムで知ることが出来ます。しかし、知ろうとしなければ、必要な情報を得ることも、わが身に置き換えて迅速に対策を取ったり、備えたりすることも難しいのではないのでしょうか。

私たちが身を置く医療現場でも、日頃からの備えや危機管理が、とても重要であることを強く感じています。

当病棟は急性期病棟であり、様々な不安を抱きながら、初めて入院される患者様も多くいらっしゃいます。そのため、私たちは、患者様一人ひとりに寄り添い、安全で、安心して治療に取り組める病棟作りを目指しています。



4 階 心の治療病棟
病棟長 井上 清美

～まさかの時に、もしもの備え～

東日本大震災の発生から早や 5 年が経ち、今では様々な防災グッズが、ホームセンターなどで販売されています。「天災は忘れた頃にやってくる」といった格言があるように、いつ、どこで、何が起こるのかは、わかりません。そのため、もしもの時に備え、今一度、ご家庭での防災対策について考えてみませんか？

<備えあれば憂いなし！簡単チェックリスト>

- 家具等は固定されていますか？
- 食料・飲料・生活必需品などの備蓄は十分ですか？
例えば、飲料水 3 日分（1 人 1 日 3 リットルが目安）
非常食 3 日分（ご飯・ビスケット・チョコレートなど）
ティッシュ、マッチ、ろうそく、カセットコンロ…など
- 地域の避難場所や避難経路をご存じですか？

※その他、家族内で、災害時の集会所や、安否確認の方法を決めておくと安心です。



青和病院が大切にしている3つの【和】にちなんだ出来事をお知らせします！

地域社会との和♪

春の大浦 1000 歩コース

～生活訓練センター～



生活訓練センターでは、運動不足の解消や体力アップを目指し、「施設周辺 1000 歩コース」と銘打った、散歩を多く取り入れようと企画中です。施設から 1000 歩程度で回れそうな道のりについて話し合っていると、みんながよく知る大通りのコースが候補に上がります。実際に歩く時には、横道にそれて、新たなコースを開拓しながら、地元



通になればいいなあ、などと考えています。外の空気は季節の変化を運んできます。今は、川沿いの桜の下を、みんなと一緒に歩くことができるのを楽しみにしています。

患者様・ご家族様との和♪

写真でつなぐ家族の笑顔

～3 階 老年期病棟～



老年期病棟では、レクリエーションや季節ごとのイベントの写真を、ホールに掲示しています。写真には、患者様が音楽に合わせて楽しそうに手拍子している姿や、カメラに向かって満面の笑みでVサインをしている姿が収められています。面会に来られたご家族には、写真の中に患者様の笑顔をみつけ、安堵の表情を浮かべる方もいらっしゃいます。ご家族が患者様の病院での生活を垣間見ることで、離れている時間を少しでも埋めることができるよう、これからも様々な一瞬を記録していきたいです。



職員同士の和♪

テニスサークル活動中！



一昨年に錦織圭選手が全米テニスで準優勝したことで、30 年ぶりのテニスブームがやってきました。金沢市内のテニスコートでも、週末には朝早くから予約の列に並ばなければ、利用できない所もあるそうです。実は…当院ではこのブームがやってくる前から、不定期ではありますが、テニスのサークル活動を行なっています。コートをかきまわり、汗を流しながら共に楽しむ時間は、仕事の時とは違った交流の機会にもなります。様々な職種や部署のスタッフが集まり、スポーツを通して深めてきた和。日々の業務でも、息の合った会話のラリーや、ダブルスさながらのチームプレーを心掛けています。

スタッフひとことコーナー

青和病院で働く職員がつぶやくひとことコーナーです。今回は3階病棟から♪

～桃の節句と親心～

季節の節目に行う行事。今は桃の節句です。節句には、お祝いにお料理を頂く風習があり、その食材には意味が込められています。例えば、桃の節句では、ちらし寿司の海老で「長寿」を、豆で「健康でまめに働ける」ことを、れんこんで「将来の見通しがよい」ことを願い、蛤のお吸い物では、対の貝殻に「良縁」を願うということです。このように伝統行事の由来を紐解いていくと、子の健康や幸せを願う親心は、いつの世も変わらないものなのだと思います。(M)



精神科・神経科・心療内科

医療法人社団 青樹会 青和病院

〒920-0205

石川県金沢市大浦町ホ 22-1

TEL : 076-238-3636

FAX : 076-238-9562

Email : info@seiwahp.or.jp

URL : http://www.seiwahp.or.jp



～和便り編集・発行～

青樹会広報委員



* 編集後記 *

3月は旅立ちや門出の季節です。当広報委員メンバーも、新年度には、新たな顔ぶれにバトンタッチ！今後も様々な“和”を大切にしながら、和便りにのせて、お届けしていきたいです。(T)